

【コースとプログラムの選択】

コースの選択

コースの選択は、2年次の前期履修登録時にK-SMAPYⅡにて行う。それ以降に変更の希望があった場合は、教務委員及び指導教員との面接によって決定する。コースの最終的な決定は3年次の前期履修登録時となる。なお、卒業論文の作成上、3年次と4年次のコースは同一が望ましい。

プログラムの選択

プログラムの選択は、2年次の前期履修登録時に行い、原則として3年次の前期履修登録時のみ変更可能である。なお、プログラムの選択及び変更手続きは、2年次の前期履修登録時まではK-SMAPYⅡ、それ以降に変更を希望する場合は、教務委員及び指導教員との面接によって決定する。

【カリキュラムの構成と履修方法】

基幹科目 28単位

史学科共通の基幹科目群で、「史学入門Ⅰ・Ⅱ」「史学導入演習Ⅰ・Ⅱ」「史学基礎演習Ⅰ・Ⅱ」「史学展開演習Ⅰ・Ⅱ」「史学応用演習Ⅰ・Ⅱ」「演習・卒業論文」がこれに該当する。なお、「史学展開演習Ⅰ・Ⅱ」と「史学応用演習Ⅰ・Ⅱ」は、卒業論文の作成上、同一教員による指導が望ましい。

また「史学導入演習Ⅱ」「史学基礎演習Ⅰ・Ⅱ」「史学展開演習Ⅰ・Ⅱ」「史学応用演習Ⅰ・Ⅱ」は、シラバスの「授業のテーマ」で示される内容が異なる場合には、教員の許可を得て複数受講することができる（超過単位は展開科目へ算入）。

コース別基幹科目 S-プログラムは8単位以上、P-プログラムは16単位以上

史学科の学修にとって基本となる選択必修科目群である。「概論」科目から自分のコースの2科目4単位以上、「コース」科目からS-プログラムは自身の選択しているコースから2単位を含め合計4単位以上、P-プログラムは自身の選択しているコースから8単位を含め合計12単位以上を修得しなければならない（超過単位は展開科目へ算入）。

総合科目 8単位以上

史学科における学修の根幹となる史資料の調査・研究にかかる選択必修科目群である。重複履修が可能であり、合計8単位以上を修得しなければならない（超過単位は展開科目へ算入）。

展開科目・関連科目 S-プログラム20単位以上、P-プログラム12単位以上

自由に選択できる選択科目群で、展開科目・関連科目の2つのカテゴリーからなる。展開科目は史学科の専門科目、関連科目は史学科以外の専門科目である。

【定員制の演習（ゼミ）】

2年次の「史学基礎演習Ⅰ・Ⅱ」、3年次の「史学展開演習Ⅰ・Ⅱ」、4年次の「史学応用演習Ⅰ・Ⅱ」は、演習発表や卒業論文中間発表など学生自身による研究発表と討論を中心に進められ、履修者数が極端に多くなると授業が成り立たないため、各ゼミ20人程度の定員制とする。「史学基礎演習Ⅰ・Ⅱ」は1年次の後期、「史学展開演習Ⅰ・Ⅱ」は2年次の後期に開くガイダンスで事前登録を行う。

【考古調査士資格について】

考古調査士資格とは、遺跡発掘調査にあたる調査士の資格で、全国の大学・研究機関共通の統一的な資格審査機構である「考古調査士資格認定機構」が授与する。本学は同機構に加盟しており、所定の科目を履修し単位修得した学生は、考古調査士資格（2級）を申請・取得できる。